

📋 制度の概要

次世代情報通信インフラBeyond 5G（B5G）の実現に向け、**日米共同研究**を通じた要素技術確立と技術シーズ創出を支援する制度です。米国NSFが実施するVINESプログラムと連携し、6Gの社会実装に向けた国際的な研究開発を推進します。

「6Gに関する原則を支持する共同声明：セキュア・オープン・レジリエント・バイ・デザイン」を踏まえ、戦略的パートナーである米国との連携体制構築を図り、Beyond 5Gの着実な社会実装を促進することを目的としています。

🔗 支援内容

❑ Beyond 5G要素技術開発

- ❑ 米国研究機関との共同研究による技術シーズ創出
- ❑ 社会実装までを見据えた研究開発（NSF VINESトラック2）
- ❑ 標準化等における協力体制の構築

最大1.44億円/年

期間：最大3年

🔍 対象となる取組

- ❑ **Beyond 5G要素技術**の確立や技術シーズの創出
- ❑ 米国との**国際共同研究**を通じた研究開発
- ❑ NSF VINESトラック2による社会実装を見据えた取組
- ❑ セキュア・オープン・レジリエント・バイ・デザインの原則に沿った技術開発

※TRLレベル1-3に該当する基礎技術が対象

👤 対象者

- ❑ **企業・大学等の法人組織**（単独または複数の研究機関による共同提案）
- ❑ 米国NSF VINESトラック2と連携する日本側提案者
- ❑ Beyond 5G関連技術について**研究実績**を有する機関
- ❑ 産学コンソーシアムとしての提案を推奨（大学等学術機関）

※NICT職員の参加は制限あり

👥 専門家活用のススメ

- ❑ **Beyond 5G技術専門家**：最新技術動向と研究戦略立案支援
- ❑ **国際連携コーディネーター**：米国側研究機関との調整・交渉
- ❑ **標準化戦略アドバイザー**：ITU-R等での標準化戦略策定
- ❑ **事業化コンサルタント**：技術シーズの社会実装戦略構築

📊 戦略的分析

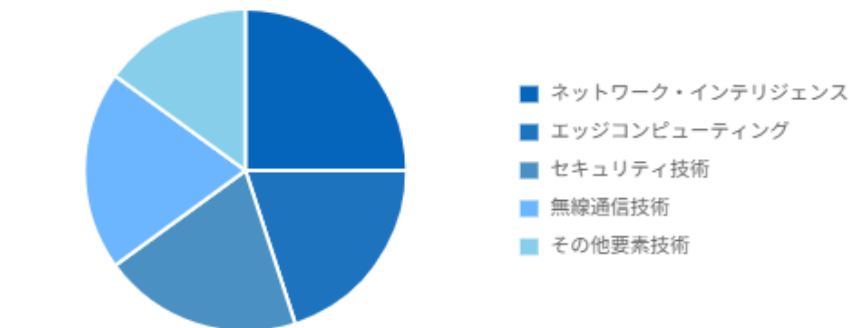
【採択の重要ポイント】

- ❑ 採択件数は**1件のみ**の高競争制度
- ❑ **米国NSFとの連携体制**が最重要。VINESトラック2との整合性を明確化
- ❑ Beyond 5Gの**社会実装シナリオ**を具体的に提示する必要
- ❑ **セキュア・オープン・レジリエント**の3原則への対応を明示

【国際共同研究戦略】

- ❑ 米国側研究機関との**役割分担**を明確化し、相互補完性を強調
- ❑ **標準化活動**への貢献度と具体的計画を提示
- ❑ 日本の技術的優位性と米国の市場展開力の**相乗効果**を訴求

📈 Beyond 5G技術領域の分析



重点技術領域：ネットワーク・インテリジェンス、エッジコンピューティング、セキュリティ技術

市場予測：2030年代にBeyond 5G市場は急拡大予測

🔬 研究開発段階の特徴

TRLレベル	研究内容
TRL 1-2	基本原理の発見・技術コンセプトの策定
TRL 3	分析的・実験的概念実証
将来展望	社会実装・標準化への発展

💡 採択率向上のポイント

- ❑ **米国側提案との整合性**：NSF提案内容との齟齬がないよう綿密な調整
- ❑ **技術的独創性**：既存技術を超える**ブレイクスルー**要素を明確化
- ❑ **社会実装戦略**：3年後の具体的な成果目標とその先の展開計画
- ❑ **国際競争力**：他国に対する日本の技術的優位性を論理的に説明

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/4作成】

提出書類	チェックポイント
NSF Concept Outlineの写し	❑ 日本側提案との整合性を厳密にチェック ❑ 米国側共同研究機関の役割を明確化
研究開発提案書	❑ Beyond 5G技術の独創性と優位性 ❑ 社会実装までの具体的ロードマップ
実施体制・経費計画書	❑ 日米共同研究の役割分担を詳細記載 ❑ 各年度の予算配分の妥当性
研究機関調査	❑ Beyond 5G関連の研究実績 ❑ 国際共同研究の経験・体制

📅 申請スケジュール

- **NSF提案準備**
米国側研究機関との調整が必須。共同研究体制の構築に数ヶ月要する。
- **第1段階（Concept Outline）**
2025年7月11日～8月26日正午
電子メールで提出。NSF提出書類の写しが必要。
- **応募資格審査**
8月下旬～9月上旬
Eligibility Letter発行対象者の決定
- **第2段階（Full Proposal）**
Eligibility Letter受領日～9月26日正午
e-Radシステムでの提出
- **契約締結・研究開始**
2026年4月頃～
2027年度にステージゲート評価を実施、継続可否を判断
最大2028年度末まで（ステージゲート評価あり）

📞 問い合わせ

制度詳細	https://www.nict.go.jp/collabo/commission/B5Gsokushin/B5G_kobo/20250711kobo.html
お問い合わせ	情報通信研究機構 イノベーション推進部門 委託研究推進室 公募担当 TEL：042-327-6011 ※お問い合わせは原則としてメールでお願いいたします。